

金浦瓦版

編集・発行：金浦区自治会

発行日：2022. 7. 4

県立図書館（明石公園内）よりガイドブック進呈の御礼



5月20日、区長宛てに県立図書館からガイドブック2冊の提供依頼がありました。早速に準備して郵送しましたところ、6月8日には、県立図書館ふるさと・資料館の寄贈担当者からガイドブック進呈に対して御礼の返事がありました。以前には、「金浦の歩み」や「高原・金浦今昔かるた」も進呈しています。その他の公・私的な文化関連施設で言うと、但馬文教府、和田山図書館、埋蔵文化財センター、神戸大学大学院人文学研究科、「歴史と神戸」編集室等には、金浦区文化的事業で発刊した作成物をその都度進呈してきました。

県立図書館（明石公園内）よりガイドブック進呈の御礼

ガイドブック作成の目指すところとは！！？

金浦区文化的事業の一環としてガイドブックを作成した目的は以下の3点でした。

一) 茶堂を中心としながら府県をまたいだ歴史文化遺産をガイドブックで残すこと。

これまでに作成した「金浦の歩み」「金浦夜久野高原観光・散策マップ」「高原・金浦今昔かるた」の記載内容についてより詳しい説明を加え、写真をふんだんに使用しました。一昔前には区の会議で金浦区と夜久野高原の知名度の低さを嘆く声がありました。また、5年～10年後の金浦を存続させる手立てが話題になりました。こうした懸念の声を具現化する一つの道筋が示せたことは、大きな意義があったと思います。

二) ガイドブックの販売によって高原の知名度アップと魅力発信に努める。

お蔭様で現在結構な数の購入があります。ここに一定の成果を見ることが出来ます。今後も、金浦や高原の情報を発信することを大切にしながらHPやQRコードの開設、新聞や市広報でのPRに努めていきたいと思っています。

三) 多くの人や団体との連携を深める。

冊子作成には、多くの方の情報と資料提供が何よりも有り難いものです。そして横の繋がりが出来て情報交換や情報共有が可能になります。また、市長、朝来・福知山市教委、山東支所、梁瀬

地域自治協、地元小中学校、ガイドブック記載関係者、歴史・写真愛好家等に進呈を行いました。繋がりを大切にすることで、助言・提言、支援、お知恵拝借、先行事例等の機会が増えて地域の



夜久野高原の歴史を歩こう 金浦区がガイドブックを発行

金浦区がこのほど、夜久野高原の歴史や史跡、散策コースなどをまとめたガイドブックを発行されました。

このガイドブックでは夜久野高原一帯の石仏を巡礼する「夜久野高原88カ所石仏巡り」や地域の偉人の紹介など、魅力を幅広く知ってもらおう構成。同区はこれまでも、郷土誌や散策マップ、かるたなど製作しており、今回で第4弾となります。

区長の福本辰志さん（写真右）と編集を担当した波多野富則さん（写真左）は「地域の活性化につながれば」と話されました。

朝来市広報令和4年5月号の掲載記事より

活性化のヒントになればとの思いからです。また、茶堂の維持管理をしている「放光院護持会」や高原の魅力発信を目的とした「絆の会」との連携を今後さらに深めていきたいと思ひます。